



● 子育て日本一の実現について
● 長時間労働と時間外勤務手当について

そのほかの質問
・第2 恐竜博物館誘致について

代表質問

問 子育て日本一の実現に向け、他市町より優れた施策とは何があるか。また、子育て日本一の実現に向けてどのように考えるか。

答 勝山市では、妊娠、出産から乳幼児期を経て、小中学生まで切れ目のない支援を行うため、子育て環境の整備、保護者への経済的負担軽減策を推進し、これまでも常に県下でも先進的な取り組みをしてきた。「ここに妊婦奨励金」「ふれあいの里・かつやまっ子すくすく育成奨励金」に加え、小学生の児童センター利用料を県内では唯一無料とし、中学校修了までの子ども医療費やインフルエンザ予防接種費用の助成など、積極的に推進している。

平成29年度には、子ども医療費助成の一部自己負担について、無料の対象を中学3年生まで拡充するなど子育て世代の経済的支援を強化する。今後も多様化する子育て世帯のニーズに応え、勝山市に合った施策の実施を検討していきたい。
問 平成29年度当初予算にて時間外勤務手当を4,932万円(平成28

年度実績8,045万円)と設定した根拠と目標達成手段を問う。また、今後、労働時間を短縮する為の方策をどのように考えるか。

答 平成15年以前の決算額が5,000万円前後であったことを根拠にしている。当初予算の段階から大幅に時間外勤務手当を増額することは、市として時間外勤務の増加を助長するような誤解を招く可能性も秘めている。

市としては時間外勤務をなるべく削減し、充実した人生を送ってもらいたいという考えのもと、厚生労働省が推進している「ゆう活」の取り組みを始めた。また、グループ内で業務の進捗状況を話し合い、終礼の実施を進め、グループリーダーを中心に、時間外勤務が必要な職員、その業務内容を所属長と共有し、所属長は時間外勤務が必要と認められる職員に「カエル名札」を交付するという取組を行った。今後は、業務の改善・効率化に資する取り組みを人事評価の評価項目に組み入れるなど、業務改善についてさらに研究したい。

トピックス

○議会の録画映像の公開について

議会では、市民に開かれた議会を実現するため、本会議（市長招集あいさつ、代表・一般質問）の様子をインターネットで公開しています。

※録画映像は本会議後、約2週間を目途に配信します。

※配信する映像及び音声は、勝山市議会の公式記録ではありませんので御理解願います。

※詳しくはホームページをご覧ください。

